



「危険予知」活動報告

K kiken(危険) **Y** yochi(予知)

店内で起こりえる危険について事前に
予知し対策を考える取組

HUB・82全店で8月、9月に実施しました「危険予知トレーニング」です。
各店で「安全」を意識し、工夫して取組んでくれています！
その中で、多くの店舗が危険と感じている場所に注目。工夫コメントもご紹介します！

第1位

店頭階段

【コメント】

- ・お客様が通る場所なので常に気になる
- ・お酒を飲んでいるので何かあったら怖い
- ・雨の日はクルー含め意識している
- ・店頭看板の出し入れが危ない



第2位

店内段差

【コメント】

- ・杖を持っている方が転ばないかドキドキする
- ・段差に気づかないお客様が多い
- ・ドリンクをこぼしてしまう
- ・自分たちがつまずく



第3位

カウンター周り

【コメント】

- ・ボトルが落ちてくる
- ・液体が垂れてお客様にかかる
- ・ボトルが割れて危ない目があった
- ・カウンター周りは物が多く実は危険



スピードメニューの陳列は大量に置くことよりも、常に補充することを重点的に意識し、カウンター周りにもものを置かないようにしている【HUB大宮東口店】



当たり前の話だが、ボトルの取り替え時はネジ等が緩んでいないかチェックすることを自店のルールとして明確にしている【HUB名駅店】



お見送りは最後まで安全に楽しんでいただくための挨拶だと思って徹底している【HUB上野昭和通り店】



マットと段差の際(きわ)がピッタリだと、どこから段差があるか見えづらい為、際から少し離れたところにマットを引くようにしている【HUB東京オペラシティ店】